

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告

1. 学校概要

学校名 徳島県 藍住町立 藍住北小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 771-1267
徳島県板野郡藍住町住吉字乾1番地
E-mail aizumi-kita2315@ma.pikara.ne.jp
Website http://e-school.e-tokushima.or.jp/aizumi/es/aizumikita/html/
幼児児童生徒数 男子 252 名 女子 278 名 合計 530 名
幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

①日常的な活動全般

○エコチェック

・エネルギーの無駄使いをなくすため、毎日エコチェックを行い、節電と節水に努めた。

○ユニセフ募金・その他の募金 (国際理解)

・ボランティア委員会を中心に、世界の子どもたちが健やかに成長できることを願い、ユニセフ等募金活動を行った。

○国際理解

・全学年で、ALTによる外国語活動を月1・2回程度行った。

○食育

・給食時に栄養士がクラス訪問を行い、食育の話をした。
・弁当の日があり、5・6年生は弁当のおかずを考えて作り、給食の時間に自分たちの作った弁当を食べた。

○書き損じはがきの回収

○阿波おどり

・5・6年生が、阿波おどりを練習し、運動会で披露した。

②各学年の活動

生活科や総合的な学習の時間を中心に、各学年で次のような学習をした。

○第1学年 「友だち大好き、学校大好き」

- ・幼稚園との交流活動や2年生との交流活動を行った。
- ・地域のお年寄りとの交流活動として、昔あそびをした。

○第2学年 「学校大好き・この町大好き」

- ・年間を通じてトマトをはじめ、様々な野菜を栽培した。
- ・学校のまわりの探検をし、様々な人たちとふれあう活動をした。

○第3学年 「大好き藍住町」(地域学習)

- ・地域への理解を深めるため、地域産業のニンジン作りについて学んだ。

○第4学年 「正法寺川探検隊」(自然・環境学習)

- ・地域の環境保護ボランティアの方々との交流を通し、地域の川を中心とする環境問題について学んだ。

○第5学年 「町の産業白書」(米作り学習)

- ・田植えや稲刈りなどの体験活動を通し、地域の産業や農業についての理解を深めた。

○第6学年 「藍の世界へ」(地域文化)

- ・地域の伝統文化である藍染め体験活動を通し、そのすばらしさを学んだ。



第1学年 「友だち大好き、学校大好き」



第2学年 「学校大好き・この町大好き」



第3学年 「大好き藍住町」(地域学習)



第4学年 「正法寺川探検隊」(自然・環境学習)



第5学年 「町の産業白書」(米作り学習)



第6学年 「藍の世界へ」(地域文化)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

社会科教科書 (教育出版)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校は、1・2年生は生活科の時間、3年生以上は社会科や総合的な学習の時間を主に利用し、ユネスコスクールとしての活動に努めている。毎年、児童の実態に応じて年間指導計画等の見直しをしているが、4年生の正法寺川探検などは代々伝統的に行われてきていることもあり、基本的には踏襲している。活動後は、各担任が反省点や改善点を挙げ、次年度に引き継げるようにしている。
--

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項1-4に対応

上記にも記載したように、第1学年は主に他学年や地域との交流、第2学年は野菜栽培を通しての食育教育や地域住民とのつながりを大切に活動している。第3学年では、社会科の学習を通して地域への理解を深めるため、地域産業であるニンジン作りについて学んだ。第4学年の「正法寺川探検隊」の活動は、本年度で13年目を迎える。地域の環境保護ボランティアの方々との交流を深め、地域の川を中心とする環境問題について学んだ。第5学年は、田植えや稲刈りなどの体験活動を通し、地域の産業や農業についての理解を深めた。第6学年は、藍住町の伝統産業である藍染めを体験することで、郷土愛について触れることを目的として活動した。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項1-5に対応

【成果】

- 1年生…友達を大切にする気持ちや愛校心が芽生え始めた。
- 2年生…地域のつながりを通し、たくさんの人たちと触れあうコミュニケーション能力が育ってきた。
- 3年生…地域の農産業を知ること、地域に誇りに思う態度が育った。
- 4年生…環境を守っていこうとする姿勢が身についた。
- 5年生…農業の大変さを知り食を大切にしようとする気持ちが養われた。
- 6年生…地域の伝統産業を継承していこうとする郷土愛の心が育った。

【課題】

これらの学習で学んだことを、どのようにして次年度へ引き継ぎ他学年へ広めていくかの具体的方法。

- ⑤ ESDの推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項2-2に対応

学習や活動のまとめとして、4年生では、正法寺川で学んだことを1年のまとめである学習発表会で保護者に向けて発表をした。また、次年度への引き継ぎの思いも込めて、3年生でも発表を行った。5年生は、自分たちで収穫したお米を使って「ライスパーティー」を行った。その際、指導に携わってくれた地域の方もお招きした。6年生では、藍染めで作ったコサージュを卒業式に自分の親に渡すようにしている。6年間の感謝の気持ちを込めて届けることができるよう、伝統的に行われている。どの活動においても、子どもたちは学習をやり遂げたという満足感を得ているようである。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
（200字程度）

※チェック事項2-3に対応

1～3年生においては、町探検やお店探検等の活動で地域のお店などに毎年協力を得ている。4年生の正法寺川探検では、「正法寺川を考える会」の方々が、毎年フィールドワークを通して学習に携わってくれている。5年生の稲刈り活動も、年間を通して、地域の農家の方に直接苗の植え方などを教えていただいている。6年生の藍染めについては、講師として藍の館の館長さんに来ていただいている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項2-4に対応

本校はまだ国内外のユネスコスクールとの連携はほとんどできていないため、今後積極的に交流を図っていくことが課題である。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項2-5に対応

特に4年生においては、自分たちが聞いたことや見たこと調べたことを、模造紙などにまとめる力や、それを相手に分かりやすく伝える能力が身についてきた。このことは、国語の学習やその他の学習においても役立つ力であり、今後も引き続き伸ばしていけるように指導していきたい。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

基本的には各学年とも29年度同様の活動計画を予定しているが、児童の実態に応じて改善や修正を加えていく予定である。